

くろしお

大町宗火鎮賀佐賀相撲



1月の納税

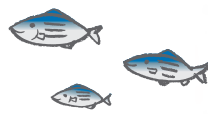
- 町民税
 - 国保
 - 後期高齢者医療保険料
 - 町民税
 - 国保
 - 後期高齢者医療保険料
- 第7期料 ・ 第4期料

安心・便利な口座振替をご利用ください。
●お問い合わせ
本庁 税務課
☎ 43-2816

12月11日に行われた「第22回県下少年相撲佐賀火鎮祭大会」。町内外から参加した小さな力士たちが、寒さに負けない熱い取組を見せてくれました。【関連記事3ページ】

1月号の主な内容

- P. 2 特集「新年 町長に聞く！」
- P. 3 まちのできごと
- P. 6 健康カレンダー
- P. 8 介護保険ガイド
- P. 11 東日本大震災の避難者へ
特定健診のお知らせ
- P. 14 教育委員会だより
- P. 15 黒潮町の文化財
- P. 16 役場からのお知らせ
- P. 20 まちの掲示板
- P. 24 くろしお子をご紹介します!



わがまちデータ

● 人口	12,864人	前月比(21人減)
		【男6,066人 女6,798人】
● 世帯数	5,745世帯	
● 15歳未満の年少人口	1,227人(比率9.53%)	【男633人 女594人】
● 65歳以上の高齢人口	4,503人(比率35.00%)	【男1,782人 女2,721人】
● 人口のうごき		
増加 14人	出生3人	転入11人
	【男1人 女2人】	【男5人 女6人】
減少 35人	死亡15人	転出20人
	【男11人 女4人】	【男9人 女11人】
		(2011(平成23)年11月30日現在)



発行/黒潮町役場

新年 町長に聞く!

1月号発行にあたり、大西勝也黒潮町長に2012年の豊富など、今後の町政についてインタビューを行いました。



Q 2011年を振り返って、一番印象に残っていることは?

町長 やはり、3月11日の東日本大震災です。実際に被災地に行ってみて、市町村の対応には限界があると感じました。まず、これまで以上の防災対策が必要です。短期間で町全体の防災レベルを底上げし、その後、完成度を上げていきます。避難道の整備と併せて、避難訓練を繰り返すことが重要と考えています。

Q 庁舎の移転先も再検討になりましたが。

町長 そうですね。でも、基本的には土佐入野駅前の再開発の方向性は変わっていません。商業機能は、これまでの利便性を考えると駅周辺にあるべきと考えています。

Q 2012年はどんなことをやりたいですか?

町長 昨年1年間、いろんな部署に提案してきた内容を、まとめていきたいと思っています。特に「防災」

「産業振興」「高齢者福祉」「国保」「公共交通」の5点は、自らがリーダーシップをとってやっています。

「高齢者福祉」では、「住み慣れた地域で健康に楽しく暮らす」ために、「あったかふれあいセンター(以下「あったか」)を核にした黒潮町福祉モデル」という多機能的な行政サービスを作っていきたいと考えています。現在、拳ノ川地区でモデル的に実施している「あったか」を、今後数年かけて町内全域に広げ、福祉だけでなく、地域づくりの拠点として活用します。

また、例えば「あったか」に集まった人々がデマンドバスを利用するなど、いろんな分野を組み合わせた、最適な方法を見出し、いきたいと思います。そのためには、具体的なモデルを作り、行政主導で住民を巻き込んでいく必要があります。

Q 10年後の黒潮町を考えると、何が一番重要ですか?

町長 やはり、雇用の確保が課題です。黒潮町では、温暖な気候風土に適した施設園芸が盛んです。この強みを生かすため、今年度中に「農業公社」を設立し、新規就農者を育成して、町内で独立するまでの支援を行うことを考えています。行政が雇用先を作るのは限界があるので、民間主導で「起業」を増やすことが雇用を増やす道だと思っています。

また、漁業や林業など、ほかの1次産業に対しても、それぞれに合った振興策を考えています。

Q その他の産業はどうですか?

町長 公共事業では、一般国道大方改良と高規格道路(高速道路)の整備があります。大方改良は生活道として利便性・安全性を向上させるために必要であり、高規格道路は災害などで国道が通行できなくなった場合に必要です。それぞれ、早期に着手・完成できるように強く国に要望していきます。

Q 最後に、住民の皆さんへメッセージをお願いします。

町長 これまでの行政サービスは、すべての地域に公平にサービスを導入することが求められてきました。これからは、80の力がある地域には20のサービス、20の力しかない地域には80のサービスを提供して、どの地域も100とする。そうやって、サービスのレベルが一定になることが公平という考えに変えていく必要があります。今後は、地域のつながりを強くし、一人ひとりが幸せに健康にいられるように、地域の声を聞いて、血の通った温かい行政サービスを提供していきたいと思っています。そのために、住民が参加する場を意図的に作っていきますので、積極的に参加していただき、一緒に新しい公共を模索していきましょう。





この売上げの半分は、東日本大震災被災地への義援金として寄付するとのこと。

上川口小のサツマイモ販売

11月28日、上川口小学校の5年生8人が、道の駅ビオスおおがたで、自分たちが育てた無農薬のサツマイモを販売しました。

サツマイモの絵を描いた旗を振りながら、「上川口小学校でとれたおいしいお芋です」「無農薬で一生懸命作りました」と大きな声でアピール。チラシを配ったり、芋を使った料理を書いてディスプレイしたり、買ってもらうために工夫を凝らしました。

おかげで、30分後には無事完売。子どもたちは「売れるとは思わなかったので、売れて嬉しかった」と喜んでいました。

フルマラソン世界記録達成!?

汗ばむほどの陽気に恵まれた11月12日、黒潮町にて『2時間02分52秒』のフルマラソン世界記録が誕生しました!



達成したのは、72名の老若男女のランナーたち。小学4年生から70代の方までが、土佐西南大規模公園陸上競技場にて100mずつ交代で走り、バトンリレーをしました。がら42.195kmを走りました。

目標タイムは、現在の世界記録『2時間03分38秒』。序盤からよいペースでバトンが渡され、世界記録を追い越したり追い越されたりが続きました。後半に参加者の疲れが出てペースダウンしましたが、「あと10周」「あと2キロ」と、ゴールが見えてくると再び勢いを取り戻し、ラストスパートも成功。世界記録を46秒も上回る結果を出すことができました。ゴールの瞬間は歓声があがり、参加者は笑顔で記録達成の充実感を味わいました。

今年で休止「佐賀火鎮祭大会」

12月11日、「第22回県下少年相撲佐賀火鎮祭大会」が、町内外から46名の参加で開催されました。日々練習に励んできた1年生から6年生までの小さい力士たちが、北風の吹くなか体をぶつけ合いながら熱戦を繰り広げました。

この大会は、佐賀地域で町内や近隣市町村の小学生・中学生・一般を対象に「火鎮祭佐賀大会」として始まりましたが、平成2年に町制50周年を記念して「県下少年相撲佐賀火鎮祭大会」と改め、県

内少年相撲の普及と振興、子どもたちの体力向上と健全な精神の涵養を目的に開催してきました。運営では、佐賀相撲振興会を中心に、町内外の企業にご支援いただくなど、地域から温かく見守られながら継続してきました。

第1回大会は、朝潮関(現高砂親方)を招いて盛大に開催するなど、子どもたちも将来の力士を目指して日々練習に励んできました。

しかし、近年では「相撲」に取り組む児童が減少し、大会を継続する事が困難になったため、今大会をもって休止することが決定しました。長い間ご支援ご協力いただき誠にありがとうございました。



取組結果は、2月号に掲載予定です。

つくろう・食べよう・遊ぼう！

三浦小学校で3世代交流

12月3日、黒潮町出口の三浦小学校で、「第5回みんなで昔遊びを楽しもう(3世代交流)」が行われました。三浦の子どもを育てる会と三浦小学校PTAの共催。

午前中は、地域住民や保護者と一緒に、1・2年生がたこづくり、3・4年生がミニ門松づくりを行い、5・6年生はカツオのたたきや炊き込みご飯、豚汁、サラダを作りました。お昼ごはんは、みんなと一緒にできたての料理をいただきました。

午後からは、おじゃみやカルタ、こままわし、竹とんぼなど、昔の遊びを楽しみました。

この行事は、子どもと保護者だけでなく、たくさん地域住民が集まり、交流できる機会として毎年1回開催しており、今年も約170人が参加。今年から、料理作りに食生活改善推進員(ヘルスメイト)も加わり、交流の幅が広がっています。

一緒に作ったり遊んだりしながら、お互いに知り合い、地域の絆が深まった一日となりました。



バスや電車の乗り方がわかったよ！

公共交通乗り方教室

市町村や交通事業者らで組織する高知西南地域公共交通協議会主催の「バス・鉄道(列車)の乗り方教室」が、11月下旬から12月にかけて行われ、町内では入野小2年生と南郷小3年生が参加し、それぞれの学校で授業を行いました。

まずは、パンフレットなどを使って事前学習を行い、後日、実際にバスや電車の乗車体験をします。入野小学校は、入野駅から中村駅へ鉄道で移動し、四万十市内のスーパーで買い物学習をした後、バスで学校へ戻るコースを設定。南郷小学校は、浮鞆駅から佐賀駅まで鉄道で移動し、佐賀地域の小学校を見学した後、拳ノ川からバスで学校へ戻るコースです。

駅で、切符の買い方や時刻表の見方、ホームでの待ち方の説明を受けた後、普通列車に乗車。日ごろ列車に乗る機会のない児童らは「カーブで汽車が傾いて怖かった」「トンネルが暗くて夜みたい」と話していました。

また、バスの乗車体験では、整理券を取って乗り、降車ボタンを押して降りる体験をしました。降

車ボタンは児童らに大人気で、学校への帰り道では、次々に「ピンポンピンポン」と鳴らしていました。児童らは「いろんな汽車やバスに乗れて嬉しかった」「また機会があったら乗りたい」と、楽しんで様子で、中には「運転手さんになりたい」という子も。学習を通して公共交通に親しむことができました。



右2枚・バスの行き先を確認し、整理券を取って乗車します。左上・黒潮町のラッピング列車に乗車。左下・昨年3月にリニューアルした土佐中村駅。

陸上自衛隊第14音楽隊「黒潮シーサイドコンサート」を開催

12月4日、ふるさと総合センターにおいて、陸上自衛隊第14音楽隊による「黒潮シーサイドコンサート」が自衛隊父兄会黒潮町支部の主催のもと開催されました。

自衛隊音楽隊とは、音楽演奏を主な任務とする防衛省陸上自衛隊の音楽部隊であり、香川県善通寺市に所在する第14音楽隊は、四国で唯一の自衛隊の音楽部隊です。

当日は500人を越える観衆の間指揮者コーナーや『イントロクイズ』など、来場者が一緒に参

加できる時間もあり、会場は大いに盛り上がりました。

また、翌5日には、大方中学校体育館において、町内の中学生と小学校5・6年生を対象とした同音楽隊による演奏会が行われ、生徒らは、迫力ある生の演奏を体験しました。

演奏後は、大方中学校・佐賀中学校の吹奏楽部への音楽指導がありました。各楽器のパートごとに分かれて指導を受けるなど、技術を学ぶ貴重な機会となりました。



高知FDからプロ野球育成入団

12月5日、高知ファイティングドッグス(FD)の武政重和社長と、定岡智秋監督、飯田一弥捕手が黒潮町を訪問しました。

10月のプロ野球ドラフト会議で、飯田選手が福岡ソフトバンクホークスから育成7順目に指名されたことの報告があり、大西町長に色紙が贈呈されました。

「今年、黒潮町でキャンプをしたメンバーから、プロ野球選手が育ちました」と武政社長。

飯田選手は、2008年に高知FDに入団。4年目となる今季は、キャプテンを務めました。

飯田選手の今後の活躍を期待しています。



左から、定岡監督、大西町長、飯田捕手、武政社長。色紙には「Hawks」と書かれています。

ビーチ雪合戦in上川口港鯨公園

12月11日、上川口鯨公園内のビーチスポーツ広場で、黒潮町では2回目となるビーチ雪合戦が開催されました。NPO 砂浜美術館と黒潮町役場海洋森林課の主催。

当日は、特別招待参加としてJICA(国際協力機構)の青年研修で来町していたモンゴル人の皆さんも出場し、小学生の部・中学生以上の部合わせて16チーム・150人以上が参加。大人も子どもも大声で叫びながら必死に敵陣に突っ込んで行く姿に、場外からは大声援が上がりました。

また、同時開催された黒潮若手の会による「KOSUKE(コスケ)」も、多くの子どもたちでにぎわいました。



雪玉の代わりに専用の布ボールが飛び交うコート。トーナメント形式で熱戦を繰り広げました。

大方地域

注)表中の※印は、受付時間となります。

1月	内 容	実施場所	実施時間
17日(火)	健康相談(ふれあいサロン)	錦野集会所	10:00~12:00
18日(水)	健 康 相 談	仲分川集会所	10:00~11:00
	健康相談(ふれあいサロン)	中馬荷集落センター	9:30~12:00
19日(木)	健康相談(ふれあいサロン)	上川口浦集会所	10:30~13:00
20日(金)	健康相談(ふれあいサロン)	伊田老人憩の家	9:30~12:00
		御坊畑集会所	9:30~12:00
23日(月)	乳 児 健 診	大方中央保育所	※13:00~13:30
25日(水)	健 康 相 談	伴太郎集会所	10:00~11:00
		大方橘川集会所	9:30~10:30
26日(木)	愛 育 相 談	南部保育所	9:30~11:00
27日(金)	愛 育 相 談	大方くじら保育所	9:30~11:00
30日(月)	愛 育 相 談	大方中央保育所	10:00~11:00

2月	内 容	実施場所	実施時間
1日(水)	健 康 相 談	奥湊川老人憩の家	13:30~14:30
8日(水)	健 康 相 談	大方橘川集会所	9:30~10:30
10日(金)	健康相談(ふれあいサロン)	出口集会所	10:00~12:00
13日(月)	健康相談(ふれあいサロン)	芝集会所	10:00~12:00

佐賀地域

注)表中の※印は、受付時間となります。

1月	内 容	実施場所	実施時間
17日(火)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
18日(水)	馬地ふれあいサロン	馬地集会所	9:30~11:00
19日(木)	漁民ふれあいサロン	漁民センター	9:30~11:30
20日(金)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
23日(月)	佐 賀 愛 育 相 談	佐賀保育所	9:30~11:00
24日(火)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
26日(木)	伊与喜ふれあいサロン	伊与喜集会所	9:30~11:00
27日(金)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
31日(火)	高 齢 者 運 動 測 定	支援センター「こぶし」	9:30~12:00

2月	内 容	実施場所	実施時間
6日(月)	1歳6カ月児健診	総合センター	※13:00~13:30
	乳 児 健 診	総合センター	※13:30~14:00
14日(火)	佐賀ふれあいサロン	総合センター	10:00~15:00

健康カレンダー

1月中旬から2月中旬までの健康に関する行事予定です。
変更となる場合もありますので、ご了承ください。

○お問い合わせ

本庁 健康福祉課 保健衛生係

☎43-2836(直通)

佐賀支所 地域住民課 保健センター

☎55-7373(直通)



当直医療機関一覧表

月	日	四万十市		宿毛市	
1月	15日(第3日曜日)	四万十市民病院	☎34-2126	筒井病院	☎0880-66-0013
	22日(第4日曜日)	さたけ小児科	☎37-2255	大西内科胃腸科	☎0880-63-1267
	29日(第5日曜日)	小原外科胃腸科	☎35-0108	奥谷整形外科	☎0880-63-1202
2月	5日(第1日曜日)	四万十市民病院	☎34-2126	清谷医院	☎0880-63-2302
	11日(建国記念日)	大野内科	☎37-5281	いなげ胃腸科内科	☎0880-62-1113
	12日(第2日曜日)	竹本病院	☎35-4151	大井田病院	☎0880-63-2101

※当直医は、変更になる場合がありますので、確認してから受診してください。

冬のウォーキングを

楽しく☆

皆さんはなぜ「ウォーキング」をしますか？

健康のため、いろんなところを訪ねたいから、ただ歩きたいからなど、歩く理由もスタイルもさまざまです。

ウォーキングに決まり事はありませんが、知っているともっと楽しくなること、もつともつと便利になることがいろいろあります。

今回は、寒い時期だからこそ得られるウォーキングの効果や防寒対策をご紹介します。

◆冬のウォーキング

○メリット

冬は日照時間が減少するため、体内時計が狂いがちといわれています。そこで、昼間（特に朝）に太陽光をしっかり浴びながら体を動かすと、疲労回復や眠りを誘う物質が作られやすくなるため、生活リズムの改善につながります。

また、冬の寒い時期は体温を維持するためにエネルギーをより多

く使うので、夏場の暑い時期よりも基礎代謝が高くなります。

さらに、寒い時期は周りの気温が低いので体の熱を発散しやすく、夏場に起こりやすい熱中症などにかかりにくいいため、夏と比べると冬の方がウォーキングを行いやすいといえます。

○注意点

寒い時期のウォーキングは、効果が期待できる反面、きちんと防寒対策やウォーミングアップを行わないと、体調を崩したり、思わぬケガを招くこともあります。特に寒い日は血管が縮んでいるので、血圧が高くなりがちです。ウォーキング前は普段以上に入念なウォーミングアップを行い、体を温めましょう。

ただし、極端に寒い日や体調が悪い時には、無理せずウォーキングを中止してください。また、ウォーキング後の汗はそのままにせず、着替えるか、すぐに汗を拭き取るようにしてください。

◆寒さを防ぐためのポイント

○時間帯と服装に気を付ける

昼間などの暖かい時間帯を選んでウォーキングを行いましょう。

歩きはじめは寒く感じても、歩いていくと体温が上がっていきまので、体温調節がしやすい服装を選びましょう。厚手のものよりも、薄手のものを重ねるとよいでしょう。アンダーウェアは吸汗性や速乾性に優れた素材を選ぶことがポイントです。

外気に肌が触れるのをなるべく防ぐためにマフラーや帽子は必需品です。運動中は汗をかくのでタオルをマフラー代わりにしてもいいでしょう。手先が冷たくなると、体全体が寒く感じてしまうので手袋を着用するようにしましょう。のどの乾燥を防ぐために、鼻から息を吸って口から吐く呼吸法を意識しましょう。マスクの着用もおすすめです。



○カイロで効率的に体を温める

寒い日は体を温めるために、カイロを当ててウォーキングしてみるのがよいでしょう。ただし、カ

イロを直接肌に貼ったり、長時間の使用は避けましょう。衣服の上から貼ったり、タオルなどで包んだり、時々位置をずらすなどして低温やけどに十分注意してください。

◆歩く姿勢のポイント

①「30度」で前進!

つま先を30度ほど上向きにして、かかとから着地。こうすれば自然に無理なく1歩を踏み出せます。

②曲げすぎず、上げすぎず!

前方に体重移動。左右の膝は軽く触れ合うよう意識。膝を曲げすぎたり、太ももを上げすぎないように。

③ヘソで歩く!

背すじを伸ばし、足でなくヘソで前進するイメージで。腹筋が引き締まりウエストもスマートに。

皆さんしっかり準備をして、寒さに負けずにウォーキングを楽しみましょう。

問 本庁健康福祉課保健衛生係

☎ 43-2836 (直通)

佐賀支所地域住民課保健センター

☎ 55-7373 (直通)



介護保険ガイド

● 介護保険広報シリーズ⁶⁹ ●
介護保険関係の所得控除

今回は、所得税・住民税の医療費控除の対象となる介護保険サービスや、その他の介護保険に関係のある所得控除についてご紹介します。

介護保険サービスの利用に係る費用

医療費控除対象額

介護保険サービスごとに、医療費控除の対象となる金額が決められており、医療費控除できる金額は、1月から12月までの1年間に支払った医療費が対象です。

対象となるサービスをご利用の場合、費用を支払った際に受け取る領収書に医療費控除対象額が記載されていますのでご確認ください。

サービスの種類（介護予防を含む）		医療費控除の対象となる範囲		
在宅サービス	医療系	①訪問看護 ②訪問リハビリテーション ③居宅療養管理指導	サービス費の自己負担分	
		④通所リハビリテーション	サービス費の自己負担分と食費	
		⑤短期入所療養介護	サービス費の自己負担分と食費、滞在費	
	福祉系	⑥訪問介護（生活援助中心型を除く） ⑦訪問入浴介護 ⑧通所介護・認知症対応型通所介護 ⑨小規模多機能型居宅介護 ⑩短期入所生活介護	サービス費の自己負担分	※①～⑤のサービスと併せて利用する場合のみ、医療費控除の対象。
		施設サービス	⑪介護老人保健施設 ⑫介護療養型医療施設	サービス費の自己負担分と食費、居住費
⑬介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）			サービス費の自己負担分と食費、居住費のそれぞれ2分の1の額。旧措置入所者は対象外。	

※高額介護サービス費の払い戻しを受けた場合は、払い戻し金額を差し引いた残りの金額が対象。

（⑬は高額介護サービス費の払い戻し金額を差し引いた残りの金額の2分の1）

※交通費は通常必要と認められる分が対象。

※日常生活費、特別なサービス費用、特別な食事・居住費は対象外。

※①～⑤の医療系サービスは支給限度額を超えた自己負担分も対象となるが、⑥～⑩の福祉系サービスは支給限度額を超えた自己負担分は対象外。

◎ **医療費控除 = 医療費控除の対象額 - (10万円または総所得金額などの合計の5%のいずれか少ない額)**

◆ 寝たきりの場合のおむつ代の医療費控除の取り扱い

傷病によりおおむね6カ月以上寝たきりで医師の治療を受けている場合に、おむつを使う必要があると認められれば、医療費控除の対象になります。（医師の発行する「おむつ使用証明書」が必要です。）また、おむつ代の医療費控除を受けるのが2年目以降で、要介護認定などを受けている人は、黒潮町の交付する「確認書」で代用できます。「確認書」については介護保険担当係へお問い合わせください。

要介護認定を受けている方



障がい者控除

65歳以上の要介護1～5の認定者で知的障がい者・身体障がい者に準ずると黒潮町長が認めた場合は、障がい者控除の対象となります。障がい者控除を受けるためには、障がい者控除対象者認定が必要ですので、介護保険担当係へ申請してください。

介護保険料



社会保険料控除

介護保険料を控除できる金額は、1月から12月までの1年間に納めた金額が対象です。

納め方	社会保険料控除が受けられる方
特別徴収 (年金から納めている)	被保険者本人のみ
普通徴収 (納付書や口座振替で納めている)	被保険者本人、または本人の代わりに介護保険料を支払った生計を同じくする家族

介護保険料は大切な財源です。納付期限までにお納めを ～安心で便利な口座振替を!～

【お問い合わせ】 本庁 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116(直通)

冬季の省エネキャンペーン

11月から3月までの期間は、エネルギー消費が増加する季節です。暖房中の室温を適切に調整するなど、省エネルギー対策を実践しましょう。

また、この冬は、四国管内でも電力不足が心配されていますので、節電へのご協力をお願いします。

〈空調〉

- 暖房中の室温は、原則住宅においては20℃、ビルにおいては19℃とする。
 - 暖房効果を高めるため、こまめにエアコンのフィルターの掃除をする。
 - エアコンを購入するときは、省エネラベルを確認し、省エネルギー性能が高いものを選ぶ。
- ※ガス・石油ストーブを使用する時は、換気に注意しましょう。

〈照明〉

- 不要な照明はこまめに消す。
- 支障のない範囲で、照明の間引きに努める（特に通路や窓際）。
- 照明器具を購入するときは、省エネ型の電球形蛍光灯やLED電球などを選ぶ。

〈電力消費機器〉

- エレベーターやエスカレーターの運転台数削減などに努める。
- 電気ポット、パソコンなどを使わないときには、こまめに電源を切る。
- 冷蔵庫は、扉の開閉回数を減らしたり、食品を詰め込み過ぎないようにする。
- 購入するときは、省エネルギー性能の高い機器を選択する。

〈運輸・交通〉

- できる限り、鉄道、バスなどの公共交通機関を利用し、近くへは徒歩や自転車で移動する。
- 自動車を利用する場合は、エコドライブ（ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ、アイドリングストップなど）を心がける。

家庭の省エネ大事典

検索

家庭・オフィスで「家庭の省エネ大事典2011年版」を活用し、より一層の省エネを実践しましょう!!

<http://www.eccj.or.jp/dict/>



環境キャラクター「エコくん。」

【お問い合わせ】 本庁 住民課 環境保全係 ☎43-2800 (直通)

みんなでささえる 国保会計



～ 特定健康診査・特定保健指導を受けましょう ～

黒潮町では、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防に重点を置いた健診・指導を実施しています。

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満に加え、高血糖、高血圧、脂質異常などといった生活習慣病のリスクが複数重なっている状態のことをいいます。この状態が長く続くと、動脈硬化が進み、心筋梗塞や脳卒中など命に関わる病気になる可能性が大幅に増えるといわれています。

ご自分の健康状態を知るためにも、年に1回の特定健康診査を受診しましょう。

内臓脂肪型肥満	+	①脂質異常
		②高血圧
		③高血糖

内臓脂肪型肥満で、かつ、①から③までのうち
1つに該当する方 → メタボリックシンドローム予備軍
2つ以上該当する方 → メタボリックシンドローム

【特定健康診査】

■対象者

40歳から74歳の黒潮町国保に加入している方（妊産婦・長期入院などの場合を除く）が対象者です。

平成23年10月末までに受診されていない方には、再度、個別にご案内させていただきます。（1月上旬までに郵送します。）

■受診に必要なもの

- ①保険証 ②受診券 ③問診票
- ④生活機能評価チェックリスト（65歳以上で、介護認定を受けていない方のみ）

■受診できる期間

2月29日まで

■受診できる場所

県内すべての医療機関が対象ではありませんので、受診希望の医療機関が役場本庁国保係にお問い合わせください。

■個人負担金

無料です。ただし、無料となるのは年に1回のみです。2回以上受診した場合は、個人負担金（実費）をいただくこととなりますのでご注意ください。

【特定保健指導】

特定健康診査の受診結果に応じて、ご自分にあつた保健指導を受けることができます。

■メタボリックシンドロームに該当の方には『積極的支援』

■メタボリックシンドローム予備軍に該当の方には『動機付け支援』

健診結果から今の生活習慣を振り返り、生活習慣改善の必要性を理解したうえで、専門家のサポートを受けながら、すぐに実行できる目標を立てます。

■健康な方も含め受診したすべての方には『情報提供』

特定健康診査の受診結果をもとにした生活習慣の見直しや生活習慣改善に必要な情報を提供します。

○お問い合わせ 【本 庁】健康福祉課 国保係 ☎43-2116(直通)
【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第2係 ☎55-3111(直通)

東日本大震災で黒潮町に避難している住民の皆さんへ

～特定健康診査・後期高齢者健診について～

平成23年11月から、東日本大震災により他地域に避難している国民健康保険および後期高齢者医療制度にご加入の方は、避難先でも「特定健診」・「後期高齢者健診」を受けることができます。受診を希望される方は下記にお問い合わせください。

【対象者】

国民健康保険または後期高齢者医療制度の加入者のうち、以下の市町村にお住まいだった方で、住民票を異動せずに他地域に避難されている方

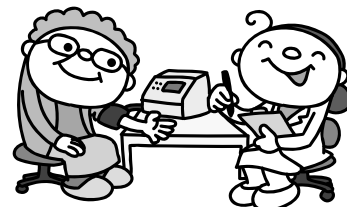
仙台市、石巻市、気仙沼市、塩竈市、名取市、岩沼市、東松島市、亶理町、山元町、女川町、南三陸町

【受診期間】

平成23年11月1日～平成24年3月31日

【お問い合わせ・ご相談】

◆ 国民健康保険にご加入の方



市町村名	担当課名	電話番号	FAX番号
仙台市	保険年金課	☎022-214-8351	FAX 022-214-8195
石巻市	保険年金課	☎0225-95-1111	FAX 0225-95-4901
気仙沼市	保険課	☎0226-22-6600	FAX 0226-21-2245
塩竈市	保険年金課	☎022-364-1111	FAX 022-367-3124
名取市	保険年金課	☎022-384-2111	FAX 022-384-2175
岩沼市	健康増進課	☎0223-22-1111	FAX 0223-22-1315
東松島市	市民課	☎0225-82-1111	FAX 0225-82-1328
亶理町	保健福祉課	☎0223-34-0524	FAX 0223-34-7341
山元町	保健福祉課	☎0223-37-1113	FAX 0223-37-4144
女川町	健康福祉課	☎0225-53-4990	FAX 0225-53-5248
南三陸町	町民税務課	☎0226-46-1373	FAX 0226-46-5348

◆ 後期高齢者医療制度にご加入の方

	担当課名	電話番号	FAX番号
後期高齢者医療広域連合	給付課	☎022-266-1021	FAX 022-266-1031

◆ 制度全般のお問い合わせ

	担当課名	電話番号	FAX番号
宮城県	国保医療課	☎022-211-2565	FAX 022-211-2593



幡多中央地区の消防団が総合訓練

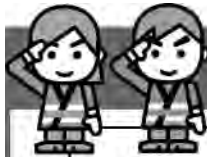
11月13日に、佐賀地域の土佐西南大規模公園東公園駐車場で、幡多中央地区消防連合会総合訓練が行われました。

この訓練は、黒潮町と四万十市の消防団が参加して行うもので、訓練では「ポンプ車の部」と「小型ポンプの部」に分かれて実践型放水訓練を行いました。いずれの部も水利からホースを2本延ばして放水し、火点を想定した目標を倒すまでのタイムを各分団が競うものです。

黒潮町消防団からは、「ポンプ車の部」に3分団、「小型ポンプの部」に9分団が参加し、「小型ポンプの部」で蜷川分団が優勝しました。なお、最終結果は下記のとおりです。

黒潮消防団全体の平均タイムは約50秒。水利からホースを延ばし、50m先の火点を倒すのに1分かからないというスピードは、日頃からの訓練のたまものです。

このように、普段からいざという時に備えて訓練を行っている消防団員の皆さんは、各地区防災のかなめといえる、頼もしい存在となっています。



幡多中央地区消防連合会総合訓練 最終結果



小型ポンプの部

(参加22チーム)

- 優勝 蜷川分団 (黒潮町)
- 2位 鞭分団 (黒潮町)
- 3位 中筋分団 (四万十市)

ポンプ車の部

(参加8チーム)

- 優勝 下田分団 (四万十市)
- 2位 佐賀分団 (黒潮町)
- 3位 入野分団 (黒潮町)

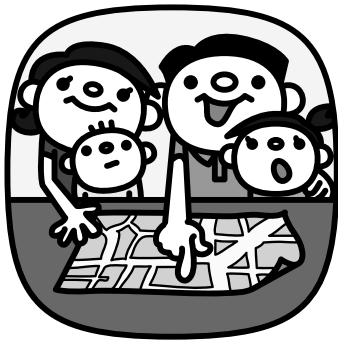
農業用ため池の 簡易被害想定図について

高知県農業振興部農業基盤課では、県内にある農業用ため池のうち、比較的規模が大きな貯水量（1000³m・堤高2m以上）のため池について、簡易被害想定図（簡易ハザードマップ）を作成しました。

今後発生が予想される南海地震に対する避難計画に役立てるため、町へ資料提供がありましたので、資料の公表を行います。

なお、閲覧場所は左記のとおりです。

◆簡易ハザードマップ閲覧場所
本庁 総務課 消防防災係



地域の防災サポーター養成講座 参加者募集のお知らせ

● 目的

今世紀前半の発生が予想されている南海地震対策として、一定の知識と技術を有する人材を育成することで、被害を軽減するとともに、被災後の地域の維持・継続に寄与することを目的とします。

● 受講対象者

定員30名 ※募集締め切り日 1月11日(水) まで
町内在住の方で、防災サポーターとして各地域で活動する人材育成の必要性に賛同し、全講座を受講可能な方。申し込みは左記まで電話にてご連絡をお願いします。

● 地域防災サポーターの認定

講座をすべて受講した方を「黒潮町地域防災サポーター」と認定し、認定証を交付するとともに、地域で活動する際に使用するユニホームを支給します。なお、全日程を受講できなかった方についても、別の日程や次年度以降などで同等の補講が終了すれば認定します。

— 講座日程 —

第1講座 座学

日時：1月15日(日) 9:30~12:00
会場：大方あかつき館
講師：高知地方気象台職員ほか
☆災害や防災の知識を学びます。起震車体験あり。



第2講座 救命講習

日時：1月28日(土)、1月29日(日) いずれも9:00~12:00
会場：黒潮消防署(28日)、黒潮町役場 本庁 保健福祉センター(29日)
講師：黒潮消防署員
☆救命に対する技術・知識を学びます。

第3講座 講話・実技

日時：2月12日(日) 10:00~15:00
会場：黒潮町役場 本庁 保健福祉センター
講師：野島断層保存館 米山正幸さん、高知県防災士会
☆災害時に各地域でみんなができる技術・知識を学びます。



田ノ口小学校

『意欲的に活動し、心豊かに
たくましく生きる児童の育成』

校長 乾 健児

◆居心地の良い学び舎に

子どもたちにとって安心・安全な環境づくりはもちろんであるが、何よりも楽しく学び合える学校であって欲しい。小春日和にできる小さな陽だまりのような学校で子どもたちが穏やかに温かく過ごすことができればと考える。

◆朝マラソンでスタート

子どもたち63名は7時20分前後に登校が開始され、馬荷地区からのスクールバスの到着を待って朝マラソンがスタートする。職員にとって子どもたちの様子をみられる絶好の時間帯である。白い息を吐きながら、それぞれのペースで駆ける子どもたちはどの子も活き活きしている。

◆朝のあいさつ運動

毎週月曜の朝には、早くから児童会執行部のメンバーが

陸橋や校門付近でみんなの登校を出迎えている。「おはよう」の言葉が交わされる光景から金子みすゞの「こだまでしよるか」が自然に浮かんでくる。特にあいさつの良い子は朝会で表彰され、みんなの意欲づけになっていく。最近では、地域の方々からも「あいさつを自らしてくれるようになった」など評価をいただき児童会の活動の成果が出てきているといえる。

◆体験活動を活かす教育

今年度は、保護者の呼びかけがあり2年生と5年生の合同で稲作体験を行うことができた。田植えや稲刈りを協力して行うことにより、連帯や信頼関係が育まれている。また、農業の大切さや作業の大変さ、収穫の喜びなど、教室では学習することのできない、汗する活動が体験できた。



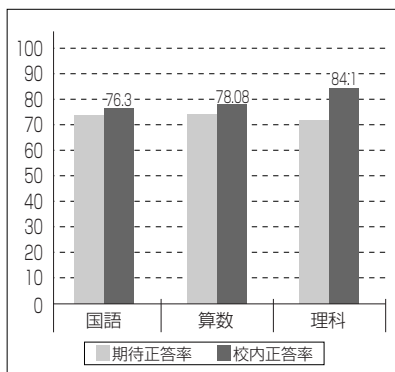
他にも地域の協力を得る中、キュウリの苗植えや収穫も行ってきた。また、幡多青少年の家を活用した中学年による「うどんの手作り」、高学年においては他校との宿泊体験学

習など、体験を通して自ら学ぶ姿勢が育ってきている。

◆学力の定着を目指して

本年度5月に行った標準学力テストの本校の結果はグラフの通りであった。

学校全体としては全国平均を上回っているが、教科により平均を下回っている学年も見られる。4月以降、授業を中心とし、業間や放課後などの加力学習に力を入れている。また、家庭学習の積み重ねの重要性も痛感しており生活習慣や学習習慣の定着に向け取り組みを進めている。



◆講師招へいによる授業改善

各学年の授業を公開し、KJ法を用いて反省し、指導力の向上に努めているが、1学期には先進的な研究を進める高知大学附属小学校の藤田先生に模範授業や指導に関する示

唆をいただいた。また、2学期には西部教育事務所の小野川憲指導主事より、本校が取り組みのかなめになっている特別活動について研修を受け日々の授業や活動に役立てている。

◆津波などの災害に備える

東日本大震災は田ノ口小の子どもたちにも大きな衝撃を与えている。繰り返し行われたシミュレーションにより被害を免れた学校の報道がなされていたが、本校でも裏山(せせらぎ公園)への避難道の整備を行うとともに避難訓練を繰り返し、「いのちを守る」教育を行っている。また、通学時や休日などにおける災害への意識づけを行い、特に、国道沿いを通学してくる児童にとって車は脅威であるため交通事故に対しても併せて学習を繰り返している。

◆地域の教育力を

朝の時間を利用し読書を推進している。毎週、火・水・木の3日間は地域のボランティアの皆さんによる読み聞かせをしていただいている。各学年とも、順番を楽しみにし、物語に真剣に引き込まれるように聞き入っている姿が見られる。



また、「だいこん交流」では、だいこんの育て方から収穫・調理まで地域の皆さんに懇切丁寧な指導をいただきながら交流を楽しんでいる。

◆皆さんからの応援

例年、参観週間を行っている。今年度は3日間の期間であったが、延べ100名近くの保護者や家族・地域の皆さんにご参観をいただくことができた。

特に、校内音楽祭は子どもたちの大きな自信となった。

◆保護者同士のつながり

体育部の主催で年2回の校内スカッシュ大会を開催している。地区対抗・学級対抗にして親睦を兼ね体力づくりに取り組んでいる。何よりPTAをあげての交流は盛り上がり、保護者同士はもちろん職員との連携も深めている。

また、町の「家庭教育支援基盤形成事業」を利用して、「親父の料理教室」も今年度7回目を迎えた。父親の考案した料理を楽しみながら、子どもたちの話に花が咲いた。懇親会でも普段聞けない親父の本音も聞け、教育に役立てている。



『観音像』

現在は黒潮町拳ノ川地区の河内神社に保管されています。

もともとは永隆寺が所有していたのですが、明治の廃仏毀釈運動により、永隆寺は廃寺になりました。

その後も、そのまま寺に保管していましたが、国道拡張事業に伴い寺を取り壊したため、観音像は永隆寺近くの河内神社に移し、地区で大切に保管しています。



※昭和50(1975)年佐賀町文化財指定。



■河内神社

神社は拳ノ川地区のほぼ中央にあり、神社の前には伊与木川が流れています。

周りには、地区集会所や拳ノ川小学校があります。

河内神社では、年に2回、夏と秋に祭りがあります。昔は子踊りなどもあり、大変にぎやかでした。今でも祭りは部落の大切な行事です。

■永隆寺の歴史

南路誌の記録によれば、『本尊は地藏菩薩、寿福寺支配、退転し本尊のみ残る、僧、今西寿教は明

治一九年三月興津観音像再建の際、招かれて法要するとあり』となっています。

また、寿福寺のことは『荷稻にあり、萬年山、本尊阿弥陀如来、禅宗で、久礼村常賢寺末寺』とあります。

慶長時代(1600年頃)には、佐賀地域には26の寺院があり、その中に永隆寺、寿福寺とも含まれています。

宝永年間(1704〜1711年)には、願成寺、妙光寺、安養寺、明恵寺、海蔵寺、髓正寺、寿福寺のほか、観音堂が4つ、地藏堂が4つがあるとされています。

また徳川末期時代には、願成寺、妙光寺、安養寺、明恵寺、寿福寺となつていきますので、永隆寺は宝永年間以後寿福寺の支配となり、明治の廃仏毀釈により寿福寺が廃寺になった時に、寿福寺支配の永隆寺も廃寺になったものと思われるます。

■廃仏毀釈

明治維新後に成立した新政府が慶応4年3月13日(1868年4月5日)に発した太政官布告「神

仏分離令」、明治3年1月3日(1870年2月3日)に出された詔書「大教宣布」などの政策によって引き起こされた、仏教施設の破壊などを指します。

神仏分離や大教宣布は、神道と仏教の分離が目的であり、仏教排斥を意図したものではありませんでしたが、結果として廃仏毀釈運動(廃仏運動)とも呼ばれる民間の運動を引き起こしてしまいました。

■佐賀地域に存在した寺院の変遷(南路誌より)

慶長時代(1600年頃)

26寺院(この中に永隆寺も含まれます。)

宝永年間(1704〜1711年)

7寺院(このほか、各村に観音堂が4つ、地藏堂が4つあるとなつていきます。)

徳川末期時代

5寺院(この中の4寺院が明治に廃寺となっています。)

問 教育委員会文化振興係

(大方あかつき館内)

☎43-2110(直通)

ねんきんコーナー

20歳になったら国民年金に加入しましょう

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、保険料を納めることになっていきます。

国民年金は、老後の生活保障だけでなく、万が一、病気やケガで障がいが残ったときや、一家の働き手が亡くなったときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし、加入の未届けや保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともあります。「あの時に…」と後悔する前に、国民年金に加入しましょう。

加入の手続きは、お住まいの市町村役場へお問い合わせください。(20歳前に就職して厚生年金等に加入中の方は、加入手続きは不要です。)

なお、学生の方や収入が少なく保険料の納付が困難な場合は、「学生納付特例」や「若年者納付猶予」など保険料の支払いを猶予する制

度がありますので、お住まいの市町村役場で国民年金の加入手続きと併せて申請してください。

年金受給者の皆さんへ
源泉徴収票が送付されます

老齢年金は、所得税法上の雑所得として課税の対象となります。

そのため、老齢年金を受けている方には、1年間の年金の支払総額などを記載した「源泉徴収票」が1月下旬に送付されますので、確定申告の際に提出してください。

紛失したときなどは再発行できますので、お近くの年金事務所または、ねんきんダイヤル(☎0570-05-1165)にお問い合わせください。

なお、障害年金・遺族年金は、課税の対象となっていないため、源泉徴収票は送付されません。

年金相談

日本年金機構幡多年金事務所では、3カ月に1度、出張年金相談を行っています。

なお、相談には、本人確認のた

め、運転免許証などの顔写真付きの身分証明書が必要となります。

日時 1月19日(木)

午前10時～午後3時

場所 総合センター(佐賀庁金豆前)

問 黒潮町役場本庁住民課

住基戸籍係

☎43-2800(直通)

佐賀支所地域住民課

総合窓口第2係

☎55-3701(直通)

日本年金機構幡多年金事務所

☎34-1616

四国4県57町村の情報誌
「笑顔満開ふるさと四国」

「四国の57のマチからムラから」
懐かしくて・新しい、優しくて・
元気の出る話をお届けします。



このたび、四国4県町村会と四国4県町村議会議長会が、四国内の57町村の魅力をもっとPRする情報誌を作成しました。

希望者には無料でお渡ししますので、左記へお申し出ください。

問 本庁総務課企画振興係

☎43-2177(直通)

佐賀支所地域住民課

総合窓口第1係

☎55-3113(直通)

税に関する作品展

本年度も、左記の日程で「税に関する作品展」を開催します。

町内の小中学生が制作した税に関する標語や習字、中学生の作文を展示しますので、多くの皆さんにご覧いただけますようご案内します。

◆**大方地域**

期間 2月7日(火)～12日(日)

午前10時～午後6時

※土日は午後5時まで

場所 大方あかつき館

町民ギャラリー

◆**佐賀地域**

期間 2月14日(火)～19日(日)

午前8時30分～午後5時

場所 総合センター(佐賀支所前)

問 教育委員会学校教育係

☎55-3190(直通)

新しい太鼓集団のお披露目！
「第23回横浜解放まつり」

「解放運動の熱と光を未来へ」をテーマに、横浜解放まつりが開催されます。

この催しは、同和問題をはじめ、あらゆる差別の解消を目指し、この1年間活動してきた学習の成果を発表する場であり、人権を考え、もたらう機会としています。

先の東日本大震災では、絆や人と人とのつながりが生きる元気の源であることが改めて認識されました。

けなげに発表する子どもたちの姿や懸命に活動する交流学生の成果、そして、透明感のある歌声はきっと皆さんの心に届くでしょう！多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

◆日時

1月28日(土) 午前9時～

催し・発表

◆場所 佐賀町民館

【午前の部】

- 佐賀中学校吹奏楽部演奏
- 開会行事
- 佐賀保育所園児発表

● おはなしコンサート

(歌手 渡辺千賀子さん)



【午後の部】

- 太鼓教室発表
- デイサービス参加者
- 人権作文発表
- 解放子ども会発表
- 交流事業発表
- (フラダンス・コーラス)
- もちろんげ(おかしなげ)

◆出店(正午～)

◆場所 老人憩の家前広場

うどん、牛串、おでん、から揚げ、カレー、じゃこ飯、焼きそばなど

◆作品展示

◆場所 横浜保育所 ホール

佐賀地域小中学校全員の人権に関する絵や習字、標語などを展示します。

問 横浜解放まつり実行委員会

事務局 佐賀町民館

☎ 55-2108

2012大方人権まつり
「第23回解放のまつり」

日頃より同和問題をはじめ、さまざまな学びや実践してきたことを、できるだけ多くの方々に伝えたいと思っています。

今回は『絆・きずな・キズナ』をテーマに、人権意識の普及・高揚をはかることを目的に開催します。たくさんのご来場をお待ちしています。

催し・発表

◆日時

2月18日(土) 午前9時～

◆場所 ふるさと総合センター

- 大方中学校吹奏楽部(演奏)
- 町内小中学生による人権作文発表
- 浜松解放子ども会(朗読・劇・ミニライブ、ほか)
- 黒潮町職労 部落解放研究部(歌)
- 大方中央保育所(歌・踊り)
- 大正琴教室参加者(演奏)
- 保・小・中学校教職員(歌)
- おらんくの先人紹介

◆記念公演 午後1時30分～

● ジェリービーンズによるトーク & コンサート
(1998年1月に結成した滋)

賀県出身バンド。双子を含む幼なじみ3人からなる。不登校を経験した3人が、等身大の、今の自分をテーマにメッセージを込めた心に響くコンサートを展開中。

『生きる喜びを見つけられる世界にしたい』とマイペースプロジェクトと題したコンサートで感動を届けている。

*閉会式終了後 おかしなげ

◆出店 ちらし寿司・炊き込みご

飯・なまこ・たたき・じゃこ飯・花の苗・グアバ茶・ぷちお好み焼き・フランクフルト・そば・やきとり・カレー・綿菓子

◆作品展示

◆日時

2月15日(水)～19日(日)

◆場所 大方あかつき館

小学生人権標語／小・中学生人権作品(書道・絵・ポスター・詩など)／大方中央保育所作品

／大方生華園・大方誠心園活動紹介／女性学級活動紹介／町民館 デイサービス活動紹介

問 2012大方人権まつり実行

委員会事務局 大方町民館

☎ 43-1204

保育所入所申し込みの受付を開始します
1月5日(木)～24日(火)

平成24年度の町内保育所への入所申し込みの受付を開始します。なお、現在入所している児童についても入所の手続きが必要です。

保育所(4力所)

大方くじら保育所・大方中央保育所・南部保育所・佐賀保育所
入所期間
平成24年4月1日から
平成25年3月31日まで

入所基準

入所できるのは、原則として次の①から⑤のいずれかに該当し、家庭で保育できない児童です。

- ①就労による場合
親が家の外で働いているか、または家の中で家事以外の労働をしている。
- ②出産・病人の介護など
親が、出産、病气、または病人の介護をしている。
- ③親がいない家庭
- ④家が災害を受け、その復旧を必要とする家庭
- ⑤その他の理由(求職中など)

提出書類

●保育所入所申込書

●源泉徴収票または所得税納付等証明書(入所児童の同一世帯で平成23年中に所得税を納められている場合)

●雇用証明書、民生委員の証明書など(その他の理由により家庭で保育できない場合)

受付期間

1月5日(木)～24日(火)

申込書の交付・受付窓口

各保育所または本庁健康福祉課
福祉係・佐賀支所地域住民課
総合窓口第2係

*広域入所(四万十市・宿毛市・四万十町)を希望される方も手続きしてください。
●受付期間を過ぎても申し込みを受け付けますが、そのときの状況により希望する保育所に入所できない場合があります。

申・問

本庁健康福祉課福祉係
☎ 43-2116(直通)
佐賀支所地域住民課
総合窓口第2係
☎ 55-3112(直通)

確定申告相談会のご案内

公的年金などを受給されている方や、所得税の還付を受けたい方を対象に、確定申告書の記載や作成方法の相談会を開催します。

2月16日(木)からの申告期間中は、税務署や税務課窓口が大変混雑しますので、ぜひこの機会をご利用ください。

◆大方地域

日時 1月26日(木)・27日(金)

午前9時30分～11時
午後1時～4時
場所 保健福祉センター
2階大ホール

◆佐賀地域

日時 2月8日(水)

午前9時～11時30分
午後1時～4時
場所 佐賀支所 1階 町民室

◆当日お持ちいただくもの

- ①昨年の相談会で申告をした方は、申告時にお渡しした「重要書類在中」の封筒
- ②公的年金などの源泉徴収票、公的年金以外の収入のある方はその所得の計算に必要なもの(給与所得の源泉徴収票など)

③国民健康保険税の支払額のお知らせ書類、国民年金・国民年金基金の控除証明書

④生命保険料、地震保険料の控除証明書

⑤医療費控除の申告をされる方は、平成23年中に支払った医療費の領収書(事前に集計をしておいでください。)

⑥印鑑、筆記用具、計算用具、還付金振込口座の通帳など

なお、「所得税の確定申告の手引き」や昨年の申告書控などを参考にして、ご自分で申告書の作成ができる方は、郵送により提出していただくようお願いいたします。

また、確定申告は、国税電子申告・納税システム(通称e-Tax)による提出もできますので、積極的なご利用をお願いします。詳しくは、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)をご利用ください。

問 本庁 税務課 住民税係

☎ 43-2816(直通)
佐賀支所地域住民課
総合窓口第1係
☎ 55-3113(直通)

平成24年度 黒潮町宮川奨学資金貸与奨学生 募集

黒潮町では、教育の機会均等を図り、社会の健全な発展に寄与するとともに、有為の人材を育成することを目的に、学資の貸与を受ける黒潮町宮川奨学資金貸与奨学生を募集します。

◆奨学生の資格

- ①申請者および保護者が本町に引き続き3年以上居住している方（住民基本台帳に記載されていること）

- ②優秀な学徒で高等学校以上の学校に入学ならびに在学し、修学の志を有するにもかかわらず、経済的理由により修学または入学困難と認められる方

- ③品行方正、向学心旺盛、志操堅実で在学学校長の推薦がある方
- ※奨学生は「黒潮町宮川奨学資金資格選考委員会」の意見をもとに教育長が決定します。

◆奨学金の額

- ①高校またはこれと同程度の学校の奨学生 月額2万円以内
- ②大学またはこれと同程度の学校の奨学生 月額3万円以内

※奨学金は無利息です。

◆奨学金の貸与

4月および10月の、年2回に分けて貸与します。

◆貸付の期間

その学校における正規の修学期間を限度とします。

◆奨学金の返還

卒業の月の1年後から、奨学資金貸付年数の2倍以内の期間内に、全額を半年賦（6月・12月）で返還してください。

◆申請の手続き

出身学校または在学校長の推薦を受け、次の書類を1部ずつ提出してください。

- ①奨学生願書
- ②奨学生推薦調書
- ③添付書類

- 住民票（申請者・保護者）
- 平成22年中分の所得証明書（申請者の世帯全員）
- 平成23年度分の納税証明書（申請者の世帯全員）

◆申込受付期間

2月1日（水）～24日（金）

申・問

教育委員会学校教育係

☎55-3190（直通）

平成24年経済センサス—活動調査を実施します（調査にこころ）

◆調査の期日

平成24年2月1日現在で実施します。

◆報告の義務

「統計法」では、統計調査を受ける人には報告の義務を、調査を行う関係者は調査で知ったことを他に漏らしてはいけない義務を規定しています。また、違反した時には罰則が定められています。

なお、調査票の記入内容を統計作成の目的以外（税の資料など）に使用することはありません。

◆調査の対象

全国すべての事業所が対象です。なお、農林漁家に属する個人経営の事業所、家事サービス業に属する事業所、外国公務・国・地方公共団体の事業所は除きます。

◆調査項目

経営組織、事業所の開設時期、従業員数、事業所の主な事業内容、売上および費用の金額、事業別売上金額など

◆調査の方法（調査員調査）

支社などが無い事業所や新設さ

れた事業所については、高知県知事が任命する調査員が訪問し調査をします。

1月下旬までに事業所に伺い、新設・廃業などの確認や調査票への記入依頼、調査票の配布を行い、2月から調査票の回収に伺います。

◆調査結果の利用方法

- ①国内総生産（GDP）、都道府県民所得などの推計に利用
- ②地方消費税を都道府県や市町村に交付する際に利用
- ③地域の産業振興や商店街活性化のための施策に利用
- ④工業団地開発計画・企業誘致施策のための基礎資料として利用
- ⑤各種補助金を交付するための基礎資料として利用



みなさまのご理解とご協力をよろしく
お願いします。

明日の日本をつくる経済調査です。

本庁総務課企画振興係

☎43-2177（直通）

おのしし

就活のプレゼンを高める
「好感度アップマナーと面接マナー」

日時 2月4日(土)
午後1時～5時

場所 四万十市社会福祉センター
2階(アピアさつき横)

対象 39歳までの若年求職者
および学生(高校生以上)

募集人数 15人

講師 竹村麻美さん
(人気講師として活躍中)

内容

- 好感度アップマナーを図る(正しい言葉使い、自己表現法の習得など)
- 面接マナーの基本の指導(面接における基本パターン、電話応対など)

受講料 無料

面接に臨む服装でご参加ください。

問

ジョブカフェこうち・幡多サテライト(アピアさつき1階)
☎ 34-6860(火・木・土/午前11時～午後7時)
FAX 34-6866
☐ jcc-hata@opal.ocn.ne.jp

林業就職相談会

林業に就業したい方、関心のある方を対象に、林業事業者・林業関係団体の担当者が、個別面談によりおこたえします。

日時

1月28日(土)
午後0時30分～3時30分
(受付締め切り 3時)

場所

高知県林業労働力確保支援センター
☎ 0887-57-0366

問

四万十市立中央公民館

「ガッテン流で健康づくり」
くメタボ対策&
おいしい健康生活のススメ

日時

2月12日(日)
午前9時30分～午後0時30分

会場

新ロイヤルホテル四万十
2階 四万十

講師

NHK科学・環境番組部
専任ディレクター 北折 一さん
(ためしてガッテン責任者)

参加費 無料

申込期限

2月2日(木)

主催

国立会(高知県国立大学歯学部出身者同窓会連合)

申・問

にいや歯科医院 新谷泰司
☎ 37-4182

子犬の譲渡会

開催日 1月25日(水)

場所 中村小動物管理センター
(四万十市古津賀)

受付時間など

◆子犬を譲りたい方
午前9時30分～10時

◆子犬を飼いたい方
午前10時～10時10分

◆譲渡犬の決定
午前10時10分～10時20分

※希望者が重複する場合は抽選となります。

◆子犬の飼養前講習会
午前10時20分～11時

◆子犬の譲り渡し
午前11時～

注意事項

●子犬を譲りたい方
必ず事前に、幡多保健所へ連絡し、当日は印鑑をお持ちください。

●子犬を飼いたい方
当日は、必ず印鑑と子犬を入れる箱をお持ちください。

※譲渡できる子犬がない場合は、中止にすることがあります。

問 幡多保健所衛生環境課
☎ 34-5119(直通)



障がい者パソコン教室

黒潮町内在住で身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方を対象に、無料のパソコン教室を開催します。

日程

3月13日(火)から3月23日(金)までの5日間(午後2時から4時までの2時間を予定)

内容

①パソコンの操作

②ワード・エクセルの使い方

③インターネット・デジタルカメラの活用など

場所

保健福祉センター
1階 健康づくり推進室

募集定員

5名程度(定員を超えた場合、こちらで調整させていただきます。)

申込期限

2月13日(月)

申・問

本庁健康福祉課福祉係
☎ 43-2116(直通)

問

佐賀支所地域住民課
総合窓口第2係
☎ 55-3112(直通)

くろしおスポーツ!



第28回高知県小学生陸上競技大会

(10月23日) 春野陸上競技場

大方JACが参加し、好成績を残しました。

- ▼ 6年女子走り高跳び
- 6位 小橋みなみ(入野小) 1m05

第23回幡多地区小学生陸上競技大会

(11月3日) 宿毛陸上競技場

大方JACの子どもたちが好成績を残しました。

- ▼ 5年男子100m
- 3位 北川文太(南郷小) 15秒45
- ▼ 5年男子ボール投げ
- 3位 中澤龍世(入野小) 39m70
- 4位 宮川竜一(入野小) 37m78
- 5位 川田優太(田ノ口小) 34m51
- ▼ 6年男子ボール投げ
- 6位 小橋十真(入野小) 43m24
- ▼ 3年女子100m
- 5位 松下千登世(伊田小) 17秒83
- ▼ 6年女子100m
- 3位 宮地 光(入野小) 15秒36

- ▼ 5・6年女子80mハードル
- 3位 漆原 舞(入野小) 17秒00

- ▼ 6年女子ボール投げ
- 5位 二宮亜柚実(入野小) 17m35

- ▼ 5年女子走り幅跳び
- 4位 酒井優衣奈(入野小) 2m88

- ▼ 5年女子走り高跳び
- 5位 中平歩菜(田ノ口小) 2m80

- ▼ 5年女子走り高跳び
- 1位 小橋みなみ(入野小) 1m05

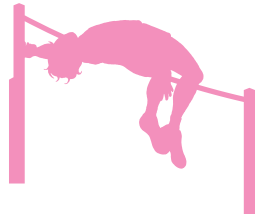
- ▼ 6年女子走り高跳び
- 1位 宮地 光 1m15

- ▼ 5・6年男子4×100mリレー
- 5位 【Aチーム】

- 池田愛果(入野小)・漆原 舞・中平歩菜・宮地 光 64秒84

お詫びと訂正

「広報くろしお」12月号20ページに掲載した、「くろしお杯球技大会 ソフトボール」の決勝戦の得点が間違っていました。お詫びして訂正します。



【決勝戦】佐賀東又SBC

(誤) 0 ↓ (正) 3

イベント・講座・サークル情報

■子育てサークル「野原にいます」

★カウンセリングクラブ まんまる①

私が私でいるために・・・

日 時：1/21(土) 10:00～12:00
場 所：加持ふれあいセンター
講 師：松本敬子先生
参加費：500円

※このクラブは、会員のみ参加できます。入会希望者は下記までご連絡ください。

★食育活動 ポンカン狩り

まさに旬の甘～いポンカンを食べに行こう!!

日 時：1/7(土) 10:00～12:00 ※雨天中止
場 所：四万十市名鹿 一円農場

※直接現地に集合。場所が分からない方は、9:30にサンリバー四万十観光案内所前に集合してください。

参加費：参加費500円(定員10名)、申込み必要
用意する物：軍手、タオルなど
※動きやすい服装、靴でおいでください。

★野外活動 海で砂遊び

入野の浜で砂遊びをしましょう。

日 時：1/17(火) 10:00～12:00 ※雨天中止
場 所：入野の浜 ※宮川公園前の砂浜付近。

参加費：無料、申込み不要
※お弁当・飲み物・おやつなどの持参は自由です。
【申・問】 地域子育て支援センター ☎43-0512

■藤田泰成選手のサッカー教室・講演会

黒潮町出身の現役Jリーガー・藤田泰成選手(FC町田ゼルビア)をお招きして、サッカー教室と講演会を開催します。参加費無料。申込不要。

※所属チームの都合により日時が変更になる場合があります。

★サッカー教室(小学生対象)

日 時：1/14(土) 10:00～
場 所：土佐西南大規模公園
球技場

★講演会

日 時：1/14(土) 16:00～
場 所：ふるさと総合センター
【問】 NPO砂浜美術館
☎43-0105



■映画「107+1～天国はつくるもの～」

路上詩人のパイオニア・てんつくマン監督のドキュメンタリー映画の上映会。映画の前には、幡多で活躍するパフォーマーの演劇・ライブ・詩の書き下ろしも。収益の一部は東日本大震災復興支援団体に寄付します。

日 時：2/5(日) 12:30開場、13:00開演

場 所：大方あかつき館

入場料：一般 前売り1,000円(当日1,200円)

中・高・大学生 前売り800円(当日1,000円)

チケット取扱所：四万十市立文化センター、他

【問】 つながり応援隊 ☎090-9779-1544(西尾)

黒潮町の黒砂糖を味わおう！
さしすせそフェア「さ」の巻

黒潮町には天然由来の基本調味料（さしすせそ）が豊富です。黒潮町では、それらの基本調味料を普段の生活に使ったり、加工商品づくりに活用する「黒潮町さしすせそ計画」を進めています。

さしすせその「さ」はもちろん砂糖。黒潮町には江戸期から続く黒砂糖の伝統があり、その確かな技術に裏付けされた本物の黒砂糖

おいしいおキホン。

さしすせそ

黒潮町



が今年もたくさんできました。

近年精白されていない黒砂糖の栄養素が見直されるとともに、かつては「入野糖」として高い評価を得ていた黒

潮町の黒砂糖を使った商品がたくさん生まれています。そこで今回、黒潮町の黒砂糖を使った商



問 本庁産業推進室 産業推進係

☎ 43-2113 (直通)

品を一堂に集め皆さんにご紹介するとともに、黒潮町の黒砂糖をより多くの方に知っていただき、日常生活に取り入れてもらうために、フェアを開催します。

開催日

1月29日(日)午前9時〜午後2時

開催場所 ※左上地図参照

黒潮町地域特産品処理加工及び

販売施設 (新精糖工場)

主催者

黒潮町特産品開発推進協議会

フェアの主な内容

- 黒潮町の黒砂糖を使った商品の販売。(黒砂糖は通常価格より安く販売します。)
- つきたてのお餅を来場者に無料プレゼント！(数量限定)
- 精糖工場の見学や黒砂糖づくり体験も予定。
- 町内外の生産者による「さしすせそ商品」の販売。

平成23年度コミュニティ助成事業を実施しました

財団法人自治総合センターでは、宝くじの普及及広報事業としてコミュニティ活動の促進と健全な発展が図られるよう助成を行っていき。地元住民によって継続してき

【佐賀北部地域協議会】

地域の維持活性化に必要な衣装などを購入。フラフは、各地区の特産品などをモチーフにしました。



【橘川地区】橘川地区で作られているおいしいお米とブドウ、梨をセットで。



【川奥地区】「ニラ」は、北部地域一帯で栽培されている特産品。代表の川奥フラフに大きくアップしました。



【鈴地区】鈴大敷にちなみ、鯛をモチーフにしたフラフを作成しました。



【中ノ川地区】中ノ川の特産品「しめじ」。食べるのがもったいないくらい愛らしいイラストになっています。



【拳ノ川地区】特産品の「若山しめじ」、復活を果たした「佐賀温泉」・「若山こうぞ」で北部地域をPRします！



【荷稻地区】荷稻地区は北部地域の米どころ。「お米」と特産品「いちご」の2ショットで。



宝くじは、広く社会に役立てられています。



【市野瀬地区】市野瀬で歴史のある「福泉寺桜」と、平成20年から栽培を始め、やっと収穫を迎えた「さが谷のゆず」の2ショットフラフ。



【小黒川地区】歴史のある「文殊桜」がモチーフ。町内で一番早く開花を迎え(毎年2月末頃)、鮮やかで濃いピンク色の花びらが特徴です。

問 本庁総務課企画振興係

☎ 43-2177 (直通)

図書館カレンダー

(●)の日は休館日です。

大方図書館



1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

佐賀図書館

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

にがおいえ・イメージ画・感想画募集中

大方・佐賀図書館では、感想画を募集しています。絵本や本を見て読んで感じたことを絵にしてみませんか。
【募集期限】1月25日(水)
【大きさ】ハガキサイズ～画用紙(B4)サイズ
【応募方法】応募用紙(図書館にあり)にご記入のうえ、作品と一緒に図書館受付まで持ってきてください。
【その他】作品は、大方あかつき館ならびに総合センター(一部作品)に展示します。表彰式も予定しています。
 ※詳しいことは、大方図書館までお問い合わせください。

あたらしくはいった本のご紹介

- ヒア・カムズ・ザ・サン 有川 浩/著
- 検事の本懐 袖月 裕子/著
- 謎解きはディナーのあとで② 東川 篤哉/著
- Steve Jobs ①・② スティーブ・ジョブズ/著
- 東日本大震災記録写真集
- 温め美人プログラム 石原 結實/著
- 震災不況でも倒れない家計術 荻原 博子/著
- ユダヤ人大富豪の教え ふたたびアメリカへ篇 本田 健/著
- バスでおでかけ 間瀬なおたか/著
- ふくびき くすのきしげのり/著

◆開館時間
【大方図書館】
 火～金 午前10時～午後6時
 土・日 午前10時～午後5時
【佐賀図書館】
 月～金 午前10時～午後6時
 ※午後1時～2時まで閉館

◆貸出冊数・期間
 本 一人5冊・2週間
 雑誌 一人3冊・2週間
 ビデオ・CD・DVD 一人2点・1週間

◆返却するとき
 ★借った本やビデオなどを紛失や破損した場合は、弁償していただく場合があります。
 ◆大方・佐賀どちらの図書館でも返却ができます。
 ◆休館日に返却する時は、各図書館にあるブックポストに入れてください。
 ◆ビデオ・CD・DVDは、できるだけ開館時の受付窓口へ返却してください。
 ◆お問い合わせ
 大方図書館 ☎43-0120(直通)
 佐賀図書館 ☎55-3150(直通)
<http://akatsuki.town.kurashio.lg.jp>

〈水道給水工事指定店 当番一覧表〉

月	日	大方地域		佐賀地域	
		担当店	水道	担当店	水道
1	9～15	中村住設大方営業所	道倉水道	山本建設(株)	(有)森田建設
	16～22	前田電工	平野住設	(有)弘瀬建設	
	23～29	吉本水道	河野電機設備	(株)土居建設	谷口水道
	30～31	大方設備センター	野村企画設備	拳ノ川住設	(有)西部総建
2	1～5	大方設備センター	野村企画設備	拳ノ川住設	(有)西部総建
	6～12	中村住設大方営業所	道倉水道	山本建設(株)	(有)森田建設
	13～19	前田電工	平野住設	(有)弘瀬建設	

●当番店の連絡先・所在地 ※当番日以外でも要請があった場合には対応いたします。

店名	電話番号		住所	店名	電話番号		住所
	事務所	自宅			事務所	自宅	
大方設備センター	43-1420	43-1483	入野769	拳ノ川住設	55-7371	55-7114	拳ノ川1781
河野電機設備	43-1022		入野2878	(有)西部総建	55-2825		伊与喜38-2
中村住設大方営業所	43-0211	43-2061	出口372-2	谷口水道	55-2316		佐賀2773
平野住設	44-1513	44-1117	伊田2100	(株)土居建設	55-2133	55-2363	伊与喜43-5
前田電工	43-1149	43-1546	入野1574	(有)弘瀬建設	55-2121		佐賀1990
道倉水道	43-2096		浮鞭3558-8	(有)森田建設	55-3621	55-2420	藤縄5-1
吉本水道	43-2024		入野544-4	山本建設(株)	55-3141	55-2076	佐賀2988
野村企画設備	43-4665		田野浦1593				

○お問い合わせ 本庁 まちづくり課 水道係 ☎43-2114(直通)

くろしおつ子を紹介します！

町内在住の子どもたちを、お家の方からのメッセージといっしょに紹介します。



吉門 悠人くん
 <平成23年7月29日生まれ>
 お兄ちゃんと仲良く元気に大きくなっていてね。<パパ・ママより>



辻 心々絆ちゃん
 <平成23年4月23日生まれ>
 元気いっぱいの子になってね。<とうちゃん・かあちゃんより>



明神 すみれちゃん
 <平成23年3月30日生まれ>
 笑顔のステキなやさしい女の子になってね♥<とうさん・かあさんより>



田淵 ひなたちゃん
 <平成22年1月24日生まれ>
 いつもひなたの笑顔に元気をもらうよ。元気いっぱいのひなたでいてね。<とうちゃん・かあちゃんより>



三保木 麻綾ちゃん
 <平成22年12月25日生まれ>
 優しく思いやりのある女の子になってね。お父さんお母さんの宝物です。<お父さんお母さんより>



門脇 夢斗くん
 <平成23年1月8日生まれ>
 お姉ちゃんと一緒に仲よく元気に育ってください♥<パパ・かあさんより>

【写真募集中！】子どもたちの成長の記念に写真を掲載してみませんか？
 左記まで写真（デジカメの場合はデータ）とメッセージをお持ちください。
 ○お問い合わせ 本庁総務課企画振興係 ☎43-2177（直通）

地域子育て支援センター通信

明けましておめでとうございませう。良いお正月を迎えられましたか？今年も地域子育て支援センターをよろしく願います。
 1月は伝承遊び、たこやブンブンごまを作って遊ぶ計画をしています。親子で交流しながら楽しい時間を過ごしましょう。
 1月から、佐賀保育所へのおでかけ広場が、第1、第2、第3の火曜日になりました。
 お気軽にご参加ください。お待ちしております。

1月の予定

- ◆おでかけ広場
 (午前9時30分～11時30分)
- 10日(火)お正月遊び
- 17日(火)作って遊ぼう
- ◆場所／佐賀保育所一時保育室
 いっしょに遊ぼう
- 4日(水)お正月遊び
- 11日(水)作って遊ぼう
- 18日(水)たこ上げ
- 25日(水)誕生会
- ◆場所／地域子育て支援センター
 子育て学習
 (午前10時30分～11時30分)



今年は冬も営業します！「黒潮一番館」冬季限定新メニュー

「黒潮一番館」のレストランは、これまで12月～3月上旬はカツオの水揚げが少ないため休業していましたが、この冬から新メニューを開発し、年間稼働をスタートしました。新メニューには、横浜の底引き網漁で獲れたヒメイチやエソ、小エビなどを使用。年始は1月11日(水)から営業します。

- 【営業時間】11:00～15:00
 【定休日】毎週火曜日
 【新メニュー】(冬季限定・1日5食)
- 黒潮日替わり定食 700円
 - かき揚げ丼 650円



冬もやりゆうき、食べに来てやろ！

○お問い合わせ 黒潮一番館 ☎55-3680
 ※たたき作り体験は、3月上旬までお休みします。

●20日(金)
 人権啓発グループ「魂拓人」
 森 秀一さん「うた&トーク」
 場所／地域子育て支援センター
 地域子育て支援センター
 (大方中央保育所内)
 ☎43-0512(直通)